

第6学年国語科学習指導案

日 時 2021年6月4日(金) 5校時

1. 単元名 表現の効果を考えて報告しよう

「防災ポスターを作ろう」(東京書籍 6年)

2. 単元の目標

- 情報と情報との関係付けの仕方を理解している。〔知識及び技能〕(2)イ
- 「書くこと」において、目的や意図に応じて書くことを選び、集めた情報を整理し、伝えたいことを明確にしている。〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ア
- 「書くこと」において、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)エ
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや願いを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

3. 単元で取り上げる言語活動

- 学校図書館などを利用し、複数の資料を活用しながら、調べたり考えたりしたことを防災ポスターにまとめて呼びかけをする活動。

4. 図書館活用で身に付けたい力

- ポスターに表現することを通して、複数の図書資料などから情報を収集し、整理・分析する力。

5. 単元について

- 本単元における重点指導事項は、学習指導要領における〔思考力、判断力、表現力等〕の「B書くこと」(1)エ「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考え方が伝わるように書き表し方を工夫すること。」である。児童はこれまでに、新聞やリーフレット作りに取り組む活動を通して、伝えたいことや自分の考えを必要な資料を活用しながら書くことを学んでいる。

本単元では完成したポスターの読み手を5・6年生と想定し、読み手が災害にあわないように、また、できるだけ被害が少なくできるように情報発信するという言語活動を設定している。ポスターは読み手が書いてある情報に基づいて実際に行動に移してもらうことが目的であり、情報を受け入れてもらえるように工夫しながら書く必要がある。そのためにも誰に伝えるかという相手意識を常に持たせることで、思いを届けるには、何を、どのように伝えればよいかという視点を持ち、これまで培ってきた技能をさらに磨き、高めていきたい。

ポスター作成は資料の吟味、情報の精選、キャッチコピーの作成、割り付け、見出しの工夫などの情報活用スキルを高めるのに適した活動である。これまで学んできた情報活用能力を生かし、ポスター作りを通して、テーマに沿って情報を集めること、集めた情報をテーマに沿って絞り込むこと、構想に基づいてレイアウトを吟味すること、その上で100～200字程度の事実に基づいた文章を書くことなど、複数の言語技能を磨いていく。今回のポスター作成の経験を他教科や総合的な学習の時間、委員会活動など様々な場面で活用してほしいと願っている。

- 児童は5年時に単元「環境問題について報告しよう」で、資料を活用して報告する活動を行っている。また、単元「和の文化について調べよう」では、学校図書館を活用して必要な情報を見

つけ、発表資料を作成して説明し合う活動を行っている。

本単元は「書くこと」の「説明・報告」の系統として位置付けられている。5年の同系統の単元では、グラフや表における着目点や、資料の引用の仕方などを学習してきた。

- 本校では情報活用能力を段階的に育成する手立ての1つとして、今年度から情報カードの活用を進めている。今回改定された学習指導要領においても国語科に「情報の扱い方に関する事項」が新設され、「情報と情報との関係」「情報の整理」の2つの内容で系統的に示されている。

情報カードについてはこれまでも学校司書と連携し、学校図書館を活用した授業の中で使ってきた。その際、情報カードの作成=情報の収集はできるが、情報カードの整理・分析、さらにはそれを活用した表現する場面の指導が難しく、うまく進まないという課題が職員間でも共有されている。そこで本時は、情報カードの整理・分析と表現の場面をうまく結びつけることを意識した授業を行う。

本単元では次の5つのグループに分かれ、防災ポスター作りを進めていく。

A：地震（津波） B：大雪 C：土砂災害 D：水害（洪水） E：火山噴火

まずはテーマとなる災害について、グループ内で分担して学校図書館の図書資料を中心に、複数の資料から情報を収集し、情報カードに記入する。災害に関する児童用の図書資料には防災の観点から整理されているものが多く、児童が必要な情報を収集する上で、たいへん効果的であると思われる。

次にそれぞれが収集した情報カードをグループで互いに紹介し合う。ここではグループの仲間がどのような情報を収集しているのかをしっかりと共有させたい。そしてポスターのレイアウトを話し合う段階で、聞き手に伝える上でどの情報が必要か、どの順番で伝えるかなどについて吟味する。ここではポスターを作成する目的意識を常に確認できるように授業者で言葉をかけていきたい。

本時はグループで決定した割り付けのスペースを踏まえ、複数の情報カードから引用・要約しながら100～200字程度の文章で伝えたいことをまとめる場面である。前時の段階で限られたスペースに効果的に情報を配置できるかを考えている。授業の最初に「複数の情報カードからのまとめ方」について全体で確認する。ポイントは次の4つである。

- 短い文章の中に伝えたい言葉（キーワード）を絞り込んで入れる。
- より分かりやすく効果的に伝えるために図表やグラフと結び付けて、伝えたい内容を書く。
- 読み手を引き付けるキャッチコピー、見出しを考える。
- 出典を明示する

4つのポイントについては、情報カードを使った具体的な例を取り上げながら、担任と学校司書とで説明する。100～200字にまとめる活動に対して困難さを抱える児童もいることが予想される。個人⇒グループという流れで活動を行うが、困った時や迷った時にはいつでもグループでアドバイスし合ってもよいことを確認する。また、児童同士のアドバイスを見守りながら、担任と学校司書も適宜個人的に具体的なアドバイスを行っていききたい。

6. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報と情報との関係付けの仕方を理解し、使っている。 (2) イ	①「書くこと」において、目的や意図に応じて書くことを選び、集めた情報を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ②「書くこと」において、引用	①これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って粘り強く書き表し方を工夫して、ポスターを作ろうとしている。

	したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	
--	---	--

7. 単元の指導計画と評価計画（全8時間 本時6/8）

時	主な学習活動	評価規準
1	○学習課題を確かめ、学習の見通しを持つ。 ・ 「ポスターを使って情報発信をしよう」 ・ 参考例のポスターを読んで気付いたことを話し合う。	【知識・技能①】 情報と情報との関係付けの仕方を理解し、使っている。（情報カード）
2	○情報を集める。 ・ テーマについてのイメージを共有して分担を	
3	決め、必要な情報を集める。	
4	○情報を整理する。 ・ グループ内の情報カードを交流し、内容を確認、整理する。	【思考・判断・表現①】 目的や意図に応じて書くことを選び、集めた情報を整理し、伝えたいことを明確にしていることの確認。（情報カード・ポスター）
5	○割り付けを考える。 ・ 伝えたい順を話し合って決め、割り付けを考える。	
6	・ ○ポスターにまとめる。【本時】	【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題を明確にし、見通しを持って粘り強く書き表し方を工夫してポスターを作ろうとしている。（発言・ポスター）
7	・ 割り付けのスペースを踏まえ、情報カードから引用・要約しながら100～200字程度の文章で伝えたいことを記述する。 ・ より分かりやすく効果的に伝えるために必要な図や表を準備する。 ・ 読み手を引き付けるキャッチコピー、見出しを考	
8	る。 ○ポスターを使って、呼びかけを行う。 ・ 学級内で発表会を行う。 ・ 内容について質問し合い、分かりやすい工夫についてお互いに評価し合う。 ○学習の振り返りをする。 ・ 学んだことを生かせる場面や方法について考え、交流する。	【思考・判断・表現②】 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫していることの確認。（ポスター）

8. 本時の学習

(1) 本時のねらい

○割り付けのスペースを踏まえ、伝えたいことを情報カードから引用・要約しながら、100～200字程度の文章で記述することができる。

(2) 展開

時	学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点（・）と支援（◎）
0	1. 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 情報カードから引用・要約しながら、100～200字程度の文章で伝えたいことをまとめよう。 </div>	◎教科書に例示されているポスターを掲示し、見通しを持ちやすくする。
5	2. 引用・要約のポイントを確認する。 ○短い文章の中に伝えたい言葉（キーワード）を絞り込んで入れる。 ○より分かりやすく効果的に伝えるために図表やグラフと結び付けて書く。 ○読み手を引き付けるキャッチコピー、見出しを考える。 ○出典を明示する。	・実際に複数の情報カードから要約する過程を具体的に示し、ポイントを明確にする。 ・本時は100～200字の文章をまとめることを中心に行うことを確認する。 ・何のために情報をまとめるのかについて、その目的をしっかりと確認する。
15	3. 情報カードから引用し、要約した文章を書く。 ・この情報とこの情報とを結び付けてみよう。 ・まずはやってみよう。困ったら友達に相談しよう。 ・図や表があった方がもっと分かりやすいかな。	◎困っている児童に対しては情報カードを並べて、カードの中で重要だと考える部分に線を引き、それを組み合わせでまとめるなど、個別に支援する。
30	○グループでアドバイスし合う時間を設定し、互いの文章を読み合う。 ・キーワードが使ってあって、とても読みやすい。 ・この言葉をもっと分かりやすくした方がいいのでは。 ・ここに図を入れたらより防災意識が高まるのでは。	・読み手に伝わる表現の工夫についての話し合いの様子を全体にも広げる。 ◎グループでの話し合いの様子を見守り、適宜アドバイスを行う。
	4. 振り返りを行い、次時への見通しを持つ。	

(3) 評価

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	支援を要する状況への手立て
目的や意図に応じて書くことを選び、集めた情報を整理し、伝えたいことを明確にしている。 さらには 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	目的や意図に応じて書くことを選び、集めた情報を整理し、伝えたいことを明確にしている。	情報カードを並べて、それぞれのカードの中で重要だと考える部分に線を引き、それを組み合わせてまとめることができるようにする。

(4) 研究の視点

- 情報カードは目的に応じて文章を要約したり、複数の情報を関連付けたりする上で有効であったか。
- 情報カードから引用・要約して文章にまとめる上で、グループでの協同的な学びを取り入れたことは有効であったか。

9. 研究協議の概要

参加者	校内 12名、校外 5名 計 17名
授業及び研究協議の概要	<p>〈授業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地震（津波）」「大雪」「土砂災害」「水害（洪水）」「火山噴火」の5つのグループに分かれ、図書資料を活用して「防災ポスターづくり」を行った。 ・複数の「情報カード」から引用する図表やグラフと結び付けながら要約し、ポスターに掲載する100～200字の文章をまとめる活動を行った。 <p>〈協議〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの心に灯をつけること。それができたら9割は授業が成功する。言語活動に対する気持ちを高めることが重要である。 ・ふだんから自分の意見や考えを書かせる経験を積む機会を保障する。子どもの力を伸ばすための重点単元をきちんと設定する。 ・情報カードのよさ ①情報を取り出す時に書きながらインプットできる。②並べ替えができる。③保存できる。情報カードは繰り返し使うことで力がついていく。 ・ICT機器との関わり方を探っていく。情報の取り出しはタブレットで、情報の整理は情報カードで、表現はポスターなどで、よりよい活用方法を考えていくことが今後の課題。